

緩和ケア内科の紹介

緩和ケア内科

松下 格司 (まつした かくし)

緩和ケア内科主任部長

医学博士／日本内科学会総合内科専門医・指導医／

日本血液学会専門医・指導医／日本リウマチ学会専門医・指導医

日本緩和医療学会専門医



当院の緩和ケア内科をご紹介します。現在常勤の医師として私と原田尚毅先生の2名勤務し、非常勤として鹿児島大学心理学科の米田幸一先生が週に2回勤務されています。私が緩和ケアに関すること、内科的なこと全般を担当し、原田先生は緩和ケア全般に加え、泌尿器科的な診療を担当いただいています。米田先生に心理的な問題も担当していただいていますので、より充実した診療体制で臨むことができるようになっています。病棟は8階で現在22床、看護体制は7：1となっており、看護助手さんも6名おられ、リハビリテーションスタッフ、薬剤師さんにもお手伝いいただき、心温まるケアを提供しています。

ここ数年の傾向ですが、入院の患者さんは250例程度あり、半数以上の方が退院されています。対象はがんの患者さんで主にがん治療が終了した状態で来られます。当院に一度訪れた患者さんが病気のある状態で今後の人生をどのように過ごすにつらさが少なく、満足できる生活を送れるのかをスタッフ全員で考えて臨んでいます。実際の診療内容ですが、症状・つらさを軽減するために、医療用麻薬をはじめとする薬剤を適切に使用し、胸水、腹水が貯留して症状がある際は排液します。リハビリテーションのスタッフと共に病棟での生活を工夫することで快適に過ごしていただきます。心理的なサポートも臨床心理士さんと共に取り組んでいます。痛みがつらく神経ブロックの適応がある際は今村総合病院や鹿児島市医師会病院にお願いしております。放射線治療、血管塞栓術の適応がある際は主に今村総合病院放射線科にお願いしています。

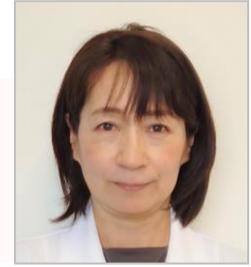
病棟での療養を希望される患者さんばかりではなく、自宅での療養を希望される患者さんも多くおられます。当院でも訪問診療に取り組んでおりますが、外来・病棟業務と並行して行っているため、頻回の訪問は難しいため、終末期の限られた期間、ある程度落ち着いている患者さんで悪化時は入院される方などに限定させていただいています。このため多くの患者さんの在宅療養を支えるためには訪問診療を専門にされている先生方との連携が必須になります。特殊な例としましては当科に訪れた患者さんで訪問診療を受けたくても地理的な問題などで難しいとされる患者さんには当方から伺わせていただくことも行っています。

終末期になってから当院に入院され、病気の進行も早く、短期間でお亡くなりになる患者さんもおられますが、当院に入院され、薬の調整、胸腹水の排液、放射線科での治療、神経ブロック、心理的サポートなどで病気があるものの、身体・精神状態が落ち着かれ、予想よりかなり長期に療養される方も多くおられます。今後も当科を受診された患者さんが少しでも症状・つらさが軽減され、ご自身らしく、希望された生活を送れるようにサポートをしていきたいと存じます。連携している先生、看護師さんを始め多くの医療従事者の皆様と一緒にがん患者さんの療養を支えていきたいと存じます。今後ともどうぞよろしくお願いたします。

■ 発行者 ■  公益財団法人 慈愛会 いづろ今村病院 地域連携室

いづろ今村病院 TEL099-226-2600(代表) いづろ今村病院・地域連携室 TEL099-226-2180 FAX099-226-2181
いづろ今村病院夜間かかりつけ救急 TEL099-226-5686 今村総合病院 救急・総合内科 TEL099-251-2221(代表)

健康管理センター



常盤 二起子 (ときわ ふきこ)

慈愛会健康管理センター長
日本内科学会認定内科医／人間ドック学会認定医／
日本総合健診医学会総合健診医

今年度4月より慈愛会健康管理センター長を拝命致しました常盤二起子です。改めまして当センターの紹介をさせていただきます。

慈愛会の人間ドックは1971年に開設され、人間ドック健診専門医研修施設として認定されています。

2017年にはいづろ今村病院と今村総合病院の人間ドック部門を統合した病院併設型の「慈愛会健康管理センター」として新たに運営を開始致しました。

『予防に勝る医療なし』をモットーに、個人・企業・公的機関の方々人間ドックや健康診断、産業医活動を行っています。

2018年には人間ドック機能評価認定施設となりました。受診者の皆様に更に安心して健診を受けていただくために質の改善を目的とした様々な取り組みを行い、今年度は機能評価認定更新の予定です。

がん検診としては、当院専門医や鹿児島県がん検診推進機構によるダブルチェックを行い、高い精度管理のもとで診断を行っています。婦人科・マンモグラフィ検査はドック当日午前中に、大腸内視鏡検査は大腸ドックコースとして2日目に受けていただくことが出来ます。

生活習慣病に対しては、人間ドック健診情報管理指導士(人間ドックアドバイザー)6名による保健指導体制を整え、特定保健指導に加えてドック受診者の生活個別相談も開始致しました。動脈硬化のセット検査(血圧脈波・頸動脈エコー・頭部MRI)や脳ドック(今村総合病院神経内科専門医による問診、診察・採血・眼底・頸動脈エコー・頭部MRIなど)も設けています。

多忙な社会人や遠方からの受診者も利用しやすいように、一部のオプション検査を除いて、おおむねお昼過ぎには結果説明まで終了しています。

健康寿命を延ばすお手伝いのために、人間ドック健診受診後には要医療・要経過観察と判定された方々への追跡調査を行い、受診が確認されない場合は受診勧奨に取り組んでいます。

当センターの紹介状もしくは結果表を持った方が皆様方のところへ受診されましたら、何卒よろしくお願い申し上げます。ご不明な点やお気づきの点がございましたら、ぜひお知らせください。皆様方からのご意見・ご指導により、受診者中心の更に質の高い人間ドック健診の実践を目指して参りたいと思います。

今後とも慈愛会健康管理センターをどうぞよろしくお願い申し上げます。

【2021年度 実績】

■総受診者数：9,247名

発見がん			
胃がん	2名	食道がん	3名
大腸がん	7名	乳がん	5名
腹部超音波発見がん	5名	前立腺がん	2名

要医療対象者の医療機関受診者数	
高血圧	67名
脂質異常	159名
糖尿病	63名

□特定保健指導終了数：198名

検査数			
上部消化管(X線)	1,046件	心電図	8,233件
上部消化管(内視鏡)	6,129件	眼底検査	5,174件
大腸(便潜血)	7,276件	骨密度検査	178件
胸部X線	8,285件	頭部MRI検査	368件
マンモグラフィ	2,072件	胸部CT検査	293件
婦人科(子宮頸部細胞診)	2,254件	大腸内視鏡検査	106件
腹部超音波検査	5,586件	頸動脈エコー検査	304件

■ 発行者 ■ 公益財団法人 慈愛会 いづろ今村病院 地域連携室

いづろ今村病院 TEL099-226-2600(代表) いづろ今村病院・地域連携室 TEL099-226-2180 FAX099-226-2181
いづろ今村病院夜間かかりつけ救急 TEL099-226-5686 今村総合病院 救急・総合内科 TEL099-251-2221(代表)